

# 釜石労働基準監督署からのお知らせ

令和6年  
7月

## 1 釜石支部主要企業訪問

取材協力：公益財団法人岩手労働基準協会釜石支部

6月5日に株式会社クライン岩手事業所様を訪問しました。

株式会社クライン岩手事業所

### 【安全パトロール】

パトロールを行う担当者を変えて毎週パトロールを実施しています。指摘事項は、原則その場で是正させており、効果的なパトロールが行われています。



別部門の担当だから見えること、気が付くこともあります。毎週行ったパトロールの結果を月に一度取りまとめたものを、月例の安全衛生委員会で検討がなされています。

「第1～4週」



### 【工作機械の安全対策】

インターロック機能を備えた工作機械を用いて業務を行っています。扉が閉まらなければ、動作しない機械の構造となっています。



工場内のほとんどの機械は、このような安全装置を備えた機械です。

### 【キャップ】

工作機械で使うドリルは、むき出しの状態とならないように常にキャップを被せています。これで、直接手に触れてケガをしないようにしています。



キャップ有 無

### 【保管場所の整理】

潤滑油の保管場所は、製品ごとに場所が決まっています。第三石油類は緑、第四石油類は水色と、分かりやすく色分けした札に製品名が書かれています。



分かりやすく色分けをした工夫です。

### 【ドラム缶内部の見える化】

潤滑油の入ったドラム缶は製品名の表記がわかりにくいので、内容物を印刷したマグネットシートを貼り付けています。これで、誰も間違えることはありません。



### 【構内の交通安全】

工場入口前に設置された工場案内図は、高さ制限のある場所を明記してあります。

構内に立ち入るトラック等の運転手に直接案内図を示して注意を行っています。



「高さ制限のある場所」

### 【転倒防止対策】

#### 転倒防止

降雪後の水はけが悪く、アイスバーンになっていたコンクリート舗装部分をアスファルト舗装しています。凍結対策に効果がありました。

工場入口にも防滑マットを設置することで、転倒防止対策を行っています。



#### 安全靴の点検

定期点検として毎年6月12月に「靴底は大丈夫ですか？」すり減ったものが無いが、安全靴の総点検を行っています。



## 2 労働災害発生状況

### 【令和6年5月末現在（前年同期と比較して1件（3.8%）の減少）】

休業4日以上労働災害 25件（前年同期26件）（新型コロナウイルス感染症に関する労働災害を除く）  
死亡災害 1件（同0件）

### 【5月届出の災害事例】

チェーンコンベアを動作させたまま清掃作業を行った際、スプロケットの間に指を挟まれ骨折した。清掃時は、機械の動作を停止させましょう。

### 3 熱中症対策の徹底を「STOP 熱中症 クールワークキャンペーン」実施中！

職場での熱中症予防対策に取り組みましょう！

キャンペーン期間：5月1日～9月30日

1 暑さ指数の把握と評価

☐ JIS規格に適合した  
暑さ指数計で暑さ指数を随時把握

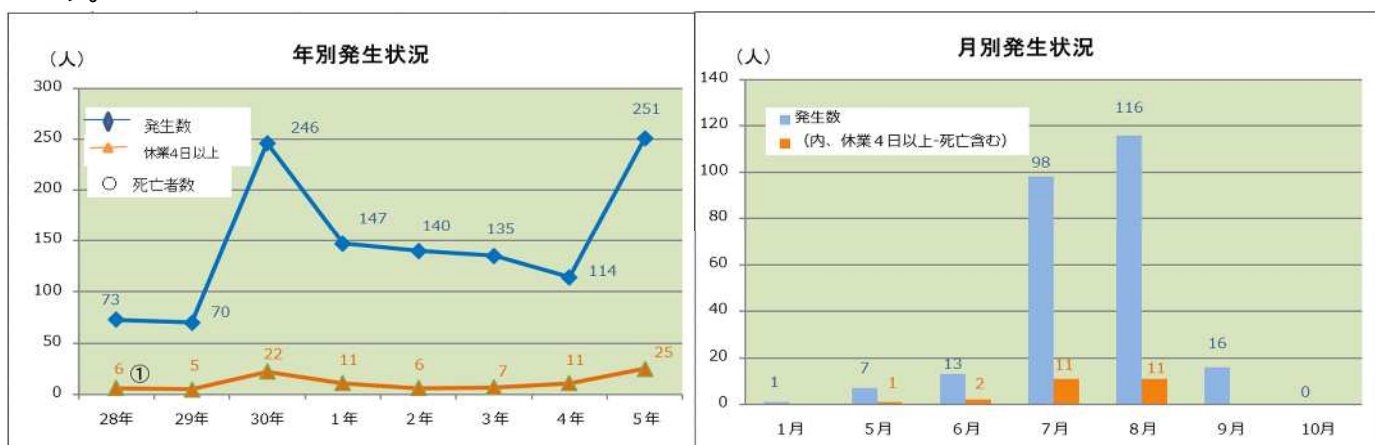
2 測定した暑さ指数に応じた対策の徹底



令和5年の岩手労働局管内事業場における熱中症による労働災害は、不休を含み251人を数え、このうち4日以上以上の休業が25人となり、これまで最多であった平成30年を超えて過去最多となりました。

発生月別では8月が最も多い116人となり、うち11人が休業4日以上となっています。次いで7月が98人、うち11人が休業4日以上となっています。

季節の変わり目に急に気温が高くなる日がありますので、早急に熱中症の対策をお願いいたします。



#### (2) 業種別、休業日数

休業日数別では、休業0日が182人と72%を占めており、休業4日以上は25人で全体の10%となっており、このうち3人は1か月以上の休業が見込まれる災害となっています。

業種別では建設業が96人と全体の38%を占め、最も多くなっています。次いで製造業43人、17%、警備業21人、8%などとなっています。

